

子宝通信

こたからつうしん 5月号

発行責任・認可保育所すこやか園
福祉活動センターよろこび

子育て相談室

石井哲夫
子どもの生活研究所所長



『公園で萎縮するわが子』

質問

もうすぐ3歳になる息子は、私と過ごす時間が多く、戸外に出ると緊張してしまい遊べません。親としては、家で2人で過ごすことが多いので、外に出た時ぐらいいはお友だちと活発に遊んで欲しいと思っているのですが…。近所の公園では、年の近いお友だち同士で砂遊びや遊具で楽しそうに遊んでいます。しかし、息子は自分から遊びに入っていけず、「遊んでおいで。」と言うと、なんとか友だちの方へ行くものの、私のところへすぐに戻ってきます。

来年は幼稚園に入園させたいと考えているので、お友だちと遊ぶことになんとか慣れてほしいと思っています。また、区で行われている健診では、発達に関して異常はないと言われました。どうしたら、友だち同士で遊べるようになるのでしょうか？

答え

お子さんを拝見しないでお答えするので、一般論とお考え下さい。区の健診にて、発達に異常がないということであれば、後は性格か、発達環境の問題でしょう。そうすぐにお一人で御心配にならず専門家の意見を求めていけばよいと思います。子どもの立場にたって、親元から初めての社会である公園に出かけたときの心境は、おそらく、緊張と不安で一杯だと思います。今では近所に餓鬼仲間がいませんから、公園が子どもの社会の初体験をする場所になっているのです。

「公園デビュー」という新語が生まれたくらい、ご家庭で、保育所に行かない幼児の社会的な経験ができる場が公園となっています。極端な例ですが、昔は庶民階級の人たちが多く、長屋という密集して暮らすような状況が沢山ありました。長屋で生まれた子どもは、生まれたところに沢山の子どもがいて、兄弟や隣近所の子どもとの付き合いが始まっていました。この頃のように孤立した家庭は、当時の大名とか、大金持ちの商屋のお子様のような状況に置かれていると言って良いでしょう。ですからお母さんは、そのお付きの乳母さんのように、我が子がうまく友だちと遊べるように付き添っているわけです。今の子どもにとって、公園で遊んでいる子どもの仲間に入るということは、大変な環境の変化を経験することになるのです。基本は他の子ども達と我が子の様子を見ながら少しずつでも近づかせていく工夫をすることです。お母さんが我が子の遊び相手になって、他の子どもたちの傍で遊ぶことから始めてみましょう。また、親同士も少しずつ会話をして、親の気持ちを通い合わせていく情景から、我が子に他の友だちへの安心感をもたらすことにもなると思います。要は、無理強いすることを控えて、子どもが自分で遊びたい気持ちを現実の行動に移せる機会を少しずつ作っていけるように、根気よく努力をすることだと思います。